

論文タイトル：PythonによるPDF論文自動生成

- サブタイトル -

azarashin, pit-creation
azarashinX, pnc

要旨

ここに論文の概要(Abstract)を記載します。この部分は1段組みで小さな文字サイズです。ReportLabを用いてタイトルページから本文、引用文献まで自動生成する手法を示します。

目次

1. チャプターA	3
2. チャプターB	3
2.1. チャプターBA	3
2.2. チャプターBB	3
2.2.1. チャプターBBA	4
2.2.2. チャプターBC	4
2.2.2.1. チャプターBCA	4
2.2.2.1.1. チャプターBCAA	4
2.2.2.1.1.1. チャプターBCAAA	4
2.2.2.1.1.1.1. チャプターBCAAAA	4
2.3. チャプターC	4
2.3.1. チャプターCA	4
2.3.1.1. チャプターCAA	4
2.3.2. チャプターCB	4
2.3.2.1. チャプターCBA	4
2.3.2.1.1. チャプターCBAA	4

しています。-----

10段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

2.2.1. チャプターBBA

1段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

2段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

3段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

4段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

5段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

6段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

7段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

8段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

9段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

10段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

2.2.2. チャプターBC

2.2.2.1. チャプターBCA

2.2.2.1.1. チャプターBCAA

2.2.2.1.1.1. チャプターBCAAA

2.2.2.1.1.1.1. チャプターBCAAAA

1段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

2段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

3段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

4段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

5段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

6段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

7段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

8段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

9段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

10段落目：これは2段組み本文のサンプルテキストです。論文本文として長い文章が続くことを想定しています。-----

2.3. チャプターC

2.3.1. チャプターCA

2.3.1.1. チャプターCAA

2.3.2. チャプターCB

2.3.2.1. チャプターCBA

2.3.2.1.1. チャプターCBAA



図 1. サンプル画像

表1. 表サンプル

実数	整数	文字列
12.00	100	説明A
1.10	200	説明B
0.02	300	説明C

1. Smith J., ReportLab Documentation, 2023.
2. Ogata S., Automatic Paper Generation with Python, 2025.
3. Example Author, Sample References in ReportLab, 2024.